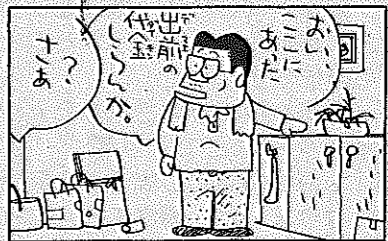
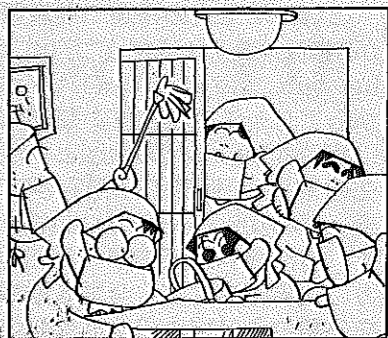




5843



共産、宇都宮氏に秋波

候補絞り込み「政権の是非、争点に」

来年1月23日告示の都知事選で、共産が候補者選を急いでいる。早くから脱原発や特定秘密保護法反対を唱え、安倍政権の是非を争点に浸透させたい考えだ。



2014 都知事選

27日、東京・代々木の共産党東京都委員会。「政策面で一致する。安倍政権と対決できる」。約20人が参加した幹部会で、若林義春

共産党支援の候補	得票(順位)	立候補時の肩書など	当選候補
1999年 三上満	66万1881(5)	「金八先生」のモデルの教育評論家、共産推薦	石原慎太郎
2003年 若林義春	36万4007(3)	党都委員長、都知事選初の共産公認	猪瀬直樹
2007年 吉田万三	62万9549(3)	元足立区長、共産推薦	猪瀬直樹
2011年 小池晃	62万3913(4)	前参院議員の論客、共産推薦	猪瀬直樹
2012年 宇都宮健児	96万8960(2)	前日弁連会長、未来、共産、社民、新社会、東京・生活者ネットワークが支持	猪瀬直樹

委員長の都知事選の支援候補として、日本弁護士連合会前会長の宇都宮健児氏(67)の名をあげた。党関係者は、猪瀬直樹前知事が辞職表明した19日の数日前、東京・銀座の宇都宮氏の事務所を訪れていた。「知事選は避けられない。お願いします」。猪瀬氏が辞職した24日には、若林委員長らが都内のホテルで宇都宮氏と会談。「昨年の選挙に引き続き、支持という形で応援したい」。宇都宮氏は「他に人がいなければ」。感触は悪くなかった。

を固め、安倍政権の是非を主要争点にさせる。27日の会合で、幹部らは意思統一をした。宇都宮氏の態度表明前に、支援候補を絞り込みつつある。半面、政党が前面に出さないと、脱原発など市民グループによる「反安倍政権」のうねりの広がりを妨げる可能性もある。前回都知事選で宇都宮氏が招致見直しを主張した2010年東京五輪への姿勢も調整が必要だ。



ザ・タイガースの(左から)岸部一徳さん、腫みのるさん、岸部四郎さん、沢田研二さん、加橋かつみさん、森本太郎さん＝東京ドーム、内田光撮影

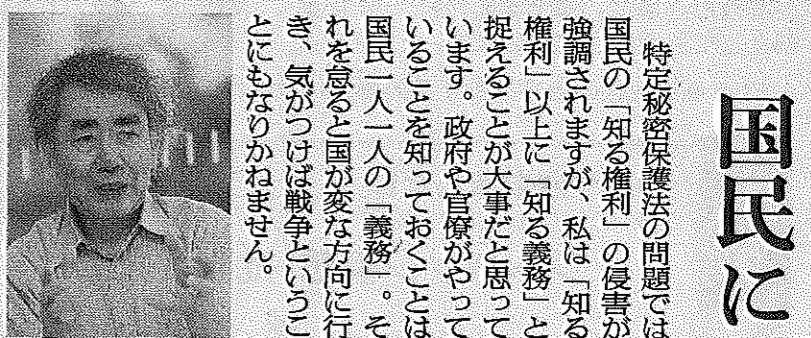
伝説のGS 全員そろった

1960年代のグループサウンズ(GS)ブームをリードし、今年44年ぶりにオリジナルメンバーでの再結成を果たしたザ・タイガースが27日、全国ツアーの最終公演を東京ドームで行った。「花の首飾り」「君だけに愛を」などの往年のヒット曲とともに、レポートでもあったザ・ビートルズ、ザ・ローリングストーンズの曲も演奏し、大観衆を沸かせた。今回のツアーは12月初めにスタート。沢田研二さん、岸部一徳さん、森本太郎さん、加橋かつみさん、腫みのるさんで全国7都市を回った。ポカルの沢田さんは集まったファンに「タイガースに光を当ててくれてありがとう」と語った。ステージ途中では、69年に加橋さんに代わって加入した岸部四郎さんも登場し、6人全員でビートルズの「イエスタデイ」を演奏した。(河村能宏)

山口5人殺害起訴

山口県周南市金峰の集落で7月に5人が連続して殺害され、2軒が放火された事件で、山口地検は27日、同じ集落の無職保見光成容疑者(64)を、5人全員に対する殺人と2軒の非現住建造物等放火の罪で起訴した。山口地裁で裁判員裁判になる。起訴状によると、保見容疑者は7月21日午後6時半から8時50分までの間、同じ集落に住む貞森誠さん(当時71)と妻の喜代子さん(当時72)を手製の木の棒で殴って殺害し、放火。次に保見容疑者宅の隣に住む山本ミヤ子さん(当時79)を殺害して放火。さらに、午後9時ごろまでに石村文人さん(当時80)、翌22日午前1

国民には「知



歌人・科学者 永田 和宏さん

特定秘密保護法の問題では国民の「知る権利」の侵害が強調されますが、私は「知る権利」以上に「知る義務」と捉えることが大事だと思っています。政府や官僚がやっていることを知っておくことは国民一人一人の「義務」。それを怠ると国が変な方向に行き、気がつけば戦争ということにもなりかねません。

知事「県外捨ててない」

午後3時過ぎ、足を引かず、肩間にしわを寄せ、仲井真知事は会見場に現れた。冒頭、用意した紙を約15分かけて読み上げた。埋め立て承認を表明した後、記者の質問に答える沖縄県の仲井真弘多知事

「目が悪いものだから、容赦なくさ」。口ぶりに余剰を感じられた。だが、2期目の知事選で掲げた県外移設の公約撤回ではないか。この点に質問が集中すると一変した。「公約は変更しておりません」。これがどう不整合

だと思っているんです?。埋め立て申請は行政手続きとして承認するが、県外移設を貫く姿勢は変わらない。そう繰り返すが、質問は続く。「今のは質問ですか批判ですか。何を言いたいんですか。目を見開き、手ぶりを交えながらま

くし立てた。県民の理解が得られなければ、どう責任を取るのか。選挙で信を問うつもりはないか。そう問われると、「ストーリーとしてはスジが通っているように思えるが、どうして(私が)県外を捨てたとおっしゃるのか全く意味がわからない」。辞任を否定した。詰めかけた記者は約80人。約20分の質疑で広報担

井戸から20万バレル 過去最高値検出

福島第一原発 東京電力は27日、福島第一原発のタービン建屋東側の護岸の観測井戸で放射性ストロンチウムなどベータ線を出す放射性物質が1バレルあたり210万バレル検出されたと発表した。過去最高値という。東電によると、検出されたのは1、2号機の取水口の間にある護岸の観測井戸で、26日に採取した地下水。これまでの最高値は19日に採取した190万バレルだった。この観測井戸では値の上昇傾向が続いているが、東電は上昇の理由がよくわからないとしている。

当者が会見を終えようとする。取材陣から抗議が殺到。県幹部が「ではあと3問にします」と告げると、知事は小声で「そんなに質問ありますか」。質問を求めるとは上がり続けたが、1時間弱で会見は打ち切られた。「こんな会見でいいんですか」。退出する際に問われると、「どういう意味ですか?」とだけ残り、会見場を後にした。